

## プロジェクトA調査報告

## 電車に乗ってオオクビキレガイを探そう

石田 惣

オオクビキレガイ (*Rumina decollata*) は地中海沿岸原産のオカチョウジガイ科のカタツムリです(図1)。殻長は2~3cmで、成長すると殻頂部が欠け落ちる特徴があります。1980年代後半に北九州市に移入し、西日本の複数県に定着しています。畑地など開けた環境に生息し、葉物野菜の新芽を食べる農業被害があります。大阪府では2010年に堺市の埋立地で最初に見つかり(石田, 2011)、2017年までに大阪市、堺市内陸部、和泉市、阪南市(柏尾ら, 2017)、及び高石市で確認されています。

大阪府下で見ついている環境は田畑、河川敷、住宅地など様々です。「開けた環境」以外に共通する景観要素は見出せません。大阪府での分布実態を把握するには、例えば碁盤の目状に区切ってしらみつぶしに調べる方法が考えられますが、面積が広すぎて現実には難しいでしょう。

そこで、「駅のツバメの巣調査」(和田, 2013)に着想を得て、鉄道駅を中心に探すことを考えました。駅を一つ決め、半径1km圏内を目安として、徒歩で公園の植え込みや田畑などを1時間探索して終了です。調査方法の詳細や進捗はホームページ(<https://sites.google.com/site/ookubikiregai/>)、「オオクビキレガイ 駅」で検索)をご覧ください。



図1：オオクビキレガイ。

この調査は4月から開始し、7月12日現在の結果が図2です。低密度域では見落としの可能性がありますが、堺市中部~高石市~泉大津市~和泉市では多くの駅周辺で見つかっています。この方法は、このような高密度域をスクリーニングする上で有効だと考えられます。

より精度の高い分布情報を得るためにも、たくさんのご参加をお待ちしております。

## 引用文献

石田 惣, 2011. 大阪府堺市の埋立地でオオクビキレガイを確認. *Nature Study*, 57(2): 6-7.

柏尾 翔・児嶋 格・大古場 正・石田 惣, 2017. 大阪府下で見つかった外来種オオクビキレガイ. *メランジェ*, 16(3): 1-4.

和田 岳, 2013. ツバメの巣をさがそう! 大阪市内の巣、関西の駅の巣. *Nature Study*, 59(5): 2-3.

<いしだ そう: 博物館学芸員>



図2：●はその近くでオオクビキレガイが見つかった駅、×は見つからなかった駅。2018年7月12日現在の結果(地図はGoogleマイマップを使用)。